

進捗状況調査票

連番	ワークショップの共感数	大項目	参加者の声（要望・意見）	解決策・代替案など進捗状況
1	32+33	一時預かり保育	直前でも気軽に子どもを預けられるサービスや施設を希望。現在は特に申請面でハードルが高い。空き状況がリアルタイムで確認できて、空いていたら即申し込めるような状態を望む。	一時預かり保育については、お子さんを安全にお預かりするため、事前に申し込みいただいております。また、利用を希望されるかたも多く、あらかじめ希望日をお聞きし、利用日を調整して、お子さんの年齢や人数により保育士を配置しているため、空きがないのが現状です。
2	56	育児休業による保育園の退園	下の子が産まれたら保育園を退園しなくてはいけないという決まりをやめてほしい。	0～2歳児クラスについては保育需要が高く、待機児童がいるため、保育の必要性の高い人かたが入園できるよう、保護者の育児休業中は退園いただいております。今後も、既存施設の改修や、小規模保育所の開設等により保育の受入れ枠の拡大を進め、まずは待機児童を解消し、保育の需給バランスを見て、未就園のお子さんを複数保育している家庭の負担軽減との公平性を考慮しつつ、0～2歳児クラスの育児休業中の継続入所等を検討してまいります。
3	24	保育園・幼稚園・認定こども園の拡充	共働きがしやすいように、幼稚園や保育園を増やしてほしい。また、その要件を緩和してほしい。	令和4年4月より新たに私立保育園を開設しました。今後も既存施設の改修等に伴う子どもの受入れ枠の増加や、小規模保育事業の認可等により、保育の需要に対応できるよう努めてまいります。また、保育園は、保護者の就労や疾病等の理由により、保育が必要な場合に保護者に代わって保育する施設ですので、要件を満たさないと入園できませんが、幼稚園は、就労等の要件はなくご利用いただけます。
4	34	保育園の準備物等	手作り制度をやめてほしい。また、おむつのサブスクなど、働く世帯が子育てしやすいように導入を検討してほしい。あと、保育園で使用したおむつは園で廃棄してほしい。	公立保育園に通うお子様の持ち物等については現在、手作りでなくてはならないということはなく、既製品でも良いこととしております。また、こども園についても令和5年度から既製品でも良いとする旨を保護者の皆様へ通知させていただきました。使用済紙おむつの廃棄については公立保育園・こども園で令和5年4月から実施します。おむつのサブスクについては公立保育園で令和5年度中に開始できるよう準備をすすめています。
5	26	母親のケア	子どものケアより疲れたお母さんのケアをしてほしい。	1歳未満の母子を対象に産後ケア事業があります。お子さんと一緒に助産師がいる施設に日帰りや宿泊をして授乳や育児の方法の指導、お母さんの身体的ケアなど必要な支援をします。産前産後ヘルパーや一時保育などの他の支援サービスについても一緒に考えてお母さんのサポートに努めます。

連番	ワークショップの共感数	大項目	参加者の声（要望・意見）	解決策・代替え案など進捗状況
6	21	ヘルパーの登録	赤ちゃん訪問の時にヘルパーの登録ができると嬉しい。（とてもいい制度で登録したかったが、登録で市役所まで行かなくてはいけないと言われ、行くまでが大変なのと思った。）	利用したいときは電話で手続きが可能のため、現在は母子健康手帳交付時に必要に応じて登録を促しています。しかし、再度利用する方など詳細な説明が不要なケースも考えられるため今後は電子申請も含め手続きの簡略化と利便性の向上に努めてまいります。
7	71	遊び場の拡充	室内遊び場が岡崎は少なく必要性を感じる。梅雨や台風、猛暑の影響もあり、一層必要性を感じている。	天候や気候に左右されない乳幼児の遊び場として、総合子育て支援センター、市内5か所の地域交流センター内にある「つどいの広場」、保育園の園庭や保育室の一部を開放する「地区子育て支援センター」「子育て広場」20か所、岡崎げんき館の子ども育成ゾーン、岡崎市額田センター（こもれびかん）があります。各学区こどもの家では、小学生が利用していない時間帯にご利用いただくことができます。 また、本市の分野別指針における「女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり」を実現するため、未来投資計画の推進事業として、家族レクリエーション型公園である南公園の（屋根付き広場や屋内遊戯施設の設置を含め）再整備を進めます。
8	51	遊び場の拡充	雨の日でも遊べる場所が欲しい。	休日等に家族全員で楽しむことができ、地域の子どもが集まる居場所として、東西南北・中央にバランスよく屋根付き広場を整備することが望ましいと考えますが、先行地域（項目7）の状況も踏まえ、庁内でしっかりと議論し設置時期等を検討していきます。
9	25	公園の遊具	大きい公園以外には、ポロポロの遊具しかなくて、楽しそうな遊具のある公園まで車で行かなくてはならない。	施設点検において安全性が危惧されるものや、設置後の年月が経過しているものから、毎年予算の範囲内で公園の利用実態を確認した上で地元と協議し順次更新を実施しています。 また、施設整備以外にも公園愛護運営会（公園育み隊）等を中心に日常的に利用されている身近な公園を地域住民の庭と捉え、清掃活動や緑化活動、健康づくりなどの地域イベントに子どもから高齢者まで参画いただくソフト側の取り組みを実践されている地域もあります。身近な公園を魅力的な居場所とするため、利用者の皆様が積極的に関わっていただけるような取り組みにも努めたいと考えます。
10	23	男性の育児休業等	男性も育休をとったほうがいいと思う。一番支えて欲しい時に支えてもらえると感謝が生まれて、その先もずっと仲良くいられると思う。	育児休業をはじめとした男性の家事・育児参画に対する必要性や重要性を啓発し、市民全体の気運を醸成するため、令和5年度に子育て家庭と企業担当者向けにセミナーを全4回開催します。また、セミナー参加者のコミュニティ作りを行い、パパ友同士で情報交換できる環境を整備することで、1人でも多く、笑顔で子育てするパパを誕生させ、家庭内の環境改善に取り組めます。さらに、男性に育児休業取得を促すため、本市独自の啓発誌を作成し、母子健康手帳交付時に配布することで、1人でも多くの男性が自分自身と家族にとって有意義な育児休業を取得できるよう取り組んでまいります。
11	136	本イベントの来年度開催	令和5年度も本イベントを開催してほしい。	本市の子育て環境を一層改善するため、令和5年度も本イベントを開催します。イベントでは、子育て世帯の悩みや要望を拾い上げるワークショップをはじめ、子どもも楽しめるブースや子育ての手助けとなるブース、パパが活躍できるブースなどを出展し、市民参加型の子育てイベントとして開催します。ワークショップでは、男性の家事・育児参画や男性の育児休業取得についての課題を中心に意見を伺う予定であり、引き続き、本市の子育て環境の改善に取り組んでまいります。